

トップメッセージ

自然の恵みを大切に人と自然のより良い関係づくりをすすめています。

宝酒造の事業は、きれいな水や穀物などの自然の恵みと微生物の発酵という自然の働きを得て成り立っています。そのため、当社には古くから自然を大切にすることが受け継がれており、その気持ちを「自然と社会と人間との調和をめざす」旨の企業理念として制定したのは、30年ほど前の1985(昭和60)年のことでした。

当社の環境活動も、自然を大切にすることから始まっています。サケを川に戻す市民運動を支援したカムバック・サーモンキャンペーンは、1979(昭和54)年に始まり、企業の自然保護活動支援の先駆けとなりました。その後もさまざまな運動を支援、1985(昭和60)年には公益信託タカラ・ハーモニストファンドを設立し、継続的に自然保護活動を支援する体制を作りました。

また、今年11年目を迎えた宝酒造「田んぼの学校」では、次世代を担う子どもたちに、農作業や自然観察を通じて自然の恵みと命のつながりを学ぶ場を提供するなど、これからも環境活動の充実に力を注いでいきます。

当社は、企業理念に則り、本業の事業活動を通じて社会に貢献していくことをすべての基本としています。

食の安全・安心に対するニーズに応えるため、商品企画から、品質設計、原料調達、製造、販売に至るまでのすべての段階において、確実な品質管理ができる体制を築き、商品をお届けしています。こうした商品やサービスを通じて、人々の暮らしを豊かなものにするとともに、常に品質を高めていく取り組みをこれからもグループ一丸となって進めてまいります。

緑字企業報告書は、環境に関する取り組みやお客様の視点からの安全・安心な品質への取り組みに加え、社会の視点、社員の視点からの取り組み等をご紹介した総合的なCSR報告書です。また、本年の特集ページでは、「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことにちなんで、「和食」とともに日本の食文化を彩る宝酒造の「和酒」のおいしさや日本の食文化を世界に広めていくための取り組みについてご紹介しています。

この報告書によって、当社の考え方と活動をご理解いただき、ご意見を承ることができれば幸いです。

宝酒造株式会社
取締役社長

市不敏男



企業理念

自然との調和を大切に、発酵やバイオの技術を通じて
人間の健康的な暮らしと生き生きとした社会づくりに貢献します。

行動規準

消費者のいきいきは、私のいきいき —すべての行動は消費者の視点からスタートします—

1. パートナーと協力し、自ら率先して仕事の質を高めます。
2. いつも「なぜ？」と問いかけ、変革をすすめます。
3. 自信と誇りにあふれるプロをめざし、スキルアップに努めます。
4. ユニークな発想で、摩擦を恐れず議論します。
5. 情報感度を磨き、目標に向かって迅速にチャレンジします。
6. 自己の言動に責任をもち、法・社会倫理を守り、自然との共生に取り組みます。